

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	おだわら諏訪の原公園		
所在地	小田原市久野・府川・飯田岡		
サイトURL	http://www.seibu-la.co.jp/suwanohara/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成18年3月)		
指定管理者名	おだわら諏訪の原公園パートナーズ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (県西土木事務所 小田原土木センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>利用状況の評価はC、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はBとなった。 利用状況については、事業計画に基づいてイベント等の広報を積極的に行うなど、適正な運用に努めたが、行動制限解除後も来園者数が回復しなかったことも踏まえ、より魅力的なイベントの実施などに努めて欲しい。 利用者満足度については、日々のきめ細やかな維持管理を行い、快適な利用空間を提供したことから、高い評価となった。 収支状況については、電気代等の高騰による支出増により、収支差額がマイナスとなったことを踏まえ、引き続き、積極的な利用促進による収入増に努めて欲しい。 引き続き、地域との連携やPRの強化等により、利用者の獲得と高い利用者満足度の維持に努めてもらいたい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆管理運営等の状況 提案に基づいて植物管理や施設管理を行った。また、新型コロナウイルス感染症防止の行動制限解除に伴い、イベントプログラムの多くを開催するなど、安全で快適な利用空間の提供に努めた。 ◆利用状況 パンフレット・イベントチラシ等による情報発信に積極的に取り組んだが、利用者数は目標達成率82.8%となり、C評価となった。 ◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が98.3%となったため、S評価となった。 ◆収支状況 原油価格高騰に伴い電気代等の高騰による支出増を踏まえて経費節減に努めたが、収支差額がマイナス899千円となり、収支比率が98.57%となったため、B評価となった。 ◆苦情・要望等 苦情や要望に適切に対応しており、良好な運営管理状況にある。 ◆事故・不祥事等 事故や不祥事等に適切に事後対応しており、良好な運営管理状況にある。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 令和4年度の3項目評価についてはB評価とした。近隣施設などとの連携を進め、更なる利用者の獲得と高い利用者満足度の維持に努めてもらいたい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	C	S	B	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月2回程度	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	管理・運営に関する情報交換を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		十分な協議をせずに開催した、陽だまりの丘仮設ドッグランイベントについて、月例業務報告の確認通知とは別に、指定管理者に月例業務報告に記載のないイベントについては事務所と協議を行うよう、指導書を発出した。

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
四季の花のみどころづくり	園内各所に、ナノハナ、コスモス、皇帝ダリア、スイセン、クロッカスなどの植栽を継続し、見どころとなる大規模花畑の創出を行った。	四季折々の花が楽しめる場所として継続的に公園の修景に取り組むことで、本公園のさらなる魅力向上に努めて欲しい。
豊かな自然に触れ合う「環境学習イベント・プログラム」の実施	生物多様性を意識した維持管理のもと、年9件の環境学習イベントを実施した。	今後も安全・快適なレクリエーション空間等を提供し、公園内の豊かな自然資源を保全し、活用ができるように努めて欲しい。
誰もが安全・安心に利用できる公園づくり	小田原消防署への通報訓練を含む防災訓練を年2回実施し、小田原フラワーガーデンと合同の防災体験イベントを小田原警察署と神奈川県警音楽隊の協力で実施した。	引き続き、周辺事業者等と連携し、様々な広報活動の実施により、安全を保ちながら多くの人が集う公園づくりを推進して欲しい。
衛生面での安全確保	感染症予防のための消毒の実施に加え、手洗い励行などのポスター掲示、感染症予防対策の周知看板の設置による注意喚起・啓発を行った。	清掃管理は利用者からの評価が高いことから、今後も感染症対策を中心に、利用者に快適性を感じてもらえるような公園づくりに取り組んで欲しい。
ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	みかんの会の説明会と体験会を開催したが、フラワーガーデン友の会との連携は、感染症拡大防止のため中止とした。	今後、中止としたフラワーガーデン友の会との連携を行うなど、公園と地域の協働の機会の提供に努めてもらいたい。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	利用促進および利用者サービス向上のため、バーベキュー場の営業を行った。 なお営業の際は、感染症予防対策を守った利用を促した。
キッチンカーの運営	利用促進および利用者サービス向上のため、キッチンカーの営業を行った。 なお、営業の際は、感染症予防対策を守った利用を促した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	166,230	168,787	136,560
対前年度比		101.5%	80.9%
目標値	150,000	150,000	165,000
目標達成率	110.8%	112.5%	82.8%

目標値の設定根拠： 事業計画書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 目視による計測と団体利用者数からの推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

- ①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 公園利用者数は、前年度169千人に対して137千人となり、32千人(23%)減少した。行動制限は解除されたが、観光地の人出が十分に回復しなかったことが影響したものと考えられる。
- ②令和4年度の対応状況
 職員のマスク着用、パークセンター入口にアルコール消毒液設置、十分な換気、ソーシャルディスタンスの確保、受付にビニールシートの設置等の感染予防対策を、通年で実施した。
 公園の利用促進のため、2年ぶりの開催となる「すわのはら春フェス」や、「熱気球体験」など、人気のイベントを開催した。

7. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様、利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 242 / 252 = 96.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	200	38	3	1	0	242	
回答率	82.6%	15.7%	1.2%	0.4%	0.0%		
前年度の回答数	83	17	0	0	0	100	
前年度回答率	83.0%	17.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	99.6%	92.4%					

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	68,173	0	1,030	自販機:1,030	69,203	69,203	0	
	決算	68,173	0	2,307	自販機:2,307	70,480	69,497	983	101.41%
前年度	当初予算	68,284	0	1,030	自販機:1,030	69,314	69,314	0	
	決算	68,284	0	2,698	自販機:2,698	70,982	70,040	942	101.34%
令和4年度	当初予算	59,300	0	2,508	自販機:2,508	61,808	61,808	0	
	決算	59,300	0	2,563	自販機:2,563	61,863	62,762	-899	98.57%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	駐車場 1 件	公園ホームページの問い合わせフォームに、駐車場の利用時間を延長して欲しいとの要望があった。	公園利用時間外（指定管理者不在時）の駐車場利用は難しいと回答した。申出者からの返答はなし。
	イベント 1 件	陽だまりの丘にワンワンDAY仮設ドッグランの設営がされており、よく利用している四阿が利用できなかった。陽だまりの丘仮設ドッグランも併設されており、愛犬家を優先しすぎているとの苦情があった。	愛犬家の方とそうでない方の公園利用について、利用場所の住み分けを行っていることを説明した。また、仮設ドッグランの範囲に四阿が入らないよう、仕切りの位置を変更した。
	イベント 1 件	陽だまりの丘仮設ドッグランイベントを利用した際、愛犬が他人の子供に追いかけておびえてしまったので、同様のことが起きないように注意喚起してほしいとの要望があった。	イベント受付時に、参加者へ本要望内容を伝え、愛犬やお子さんへの目配りをお願いした。
その他	多目的広場 1 件	多目的広場に隣接する畑の所有者から、多目的広場内に自動販売機を新設したことで自分の土地にゴミが吹き溜まる心配があるという苦情があった。	ゴミの散乱を防止するため、隣接する畑地との間にフェンスを新設した。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R4.4.9	①9：35頃、「自動車で行中途中にフェンスにぶつかった」と申し出があった。 ②4月9日に現場で状況を確認した。 ③修繕完了まで対象フェンスにトラテープを張り、コーンバーで注意喚起を行った。 ④無 ⑤フェンスの修理費は申出者が負担し、復旧した。 ⑥無

R4. 5. 12	<p>①朝の出勤時に、職員がトンネル内での落書きを発見した。 ②5月12日に現地で状況を確認した。 ③警察へ事務取扱を提出し、見回りの強化を要望した。 ④無 ⑤落書きの原因者を特定できなかったため、県の小規模工事により消去した。 ⑥無</p>
R4. 11. 16	<p>①11月16日に指定管理者が十分な協議をせずに、陽だまりの丘仮設ドックランイベントを開催していることを公園ホームページで確認した。 ②2月5日にイベント施設を撤去するよう口頭で要請し、3月20日に指導書を発出した。 ③事業計画に記載の無いイベントは、県と内容などを十分に協議した後に開催することを再確認した。 ④無 ⑤仮設ドックラン施設の撤去は、指定管理者が行った。 ⑥無</p>
R4. 12. 6	<p>①朝、ローラー滑り台の監視員が、陽だまりの丘に設置してある自動販売機が壊されていることを発見。その後の見回りで園内3か所で自動販売機が壊され、つり銭が盗難されていることを確認した。 ②12/6に現地で状況確認後、自動販売機設置会社に被害状況の確認を依頼した。 ③警察に通報し、防犯機能を付けた自動販売機に交換した。 ④無 ⑤自動販売機の交換費とつり銭の被害額は、自動販売機設置会社の全額負担となった。 ⑥無</p>
R4. 12. 28	<p>①9:00頃、パークセンター内の男子便房で開き戸が外れ、扉が来園者の額にあたった。 ②12月28日に現地で状況確認をし、被害者の方に被害状況を確認した。 ③施工業者に依頼して全便房の点検を行い、不具合箇所の補修を行った。 ④無 ⑤不具合箇所の修繕は、指定管理者が行った。 ⑥無</p>
R5. 2. 24	<p>①14:00頃、職員が公園外周の市道を車で通行した際に、園内での倒木を発見した。 ②2月24日に現地で状況を確認し、警察への通報を指示した。 ③景観維持のために、植樹（植え替え）を行うこととした。 ④無 ⑤倒木した樹木の撤去と植樹は、指定管理者が行った。 ⑥無</p>

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。